

いなだ

自分で自分の身を守れる子に

校長 青木 あゆ子

初夏を感じる陽射しの間に寒い雨の日もある今年の春です。例年の年度初めに比べて体調不良による欠席が多い4月となりました。連休の間に体調を整え、元気に運動会を迎えられることを期待しているこの頃です。

さて4月23日(火)に、第一回目の避難訓練を行いました。「大きな地震が起こったあと、火災が発生したため、校庭に避難する」という想定です。一年生も真新しい防災ずきんをかぶって、真剣な表情で校庭に集まりました。同日に、地域の方々にお集まりいただき、避難訓練の様子をご覧いただくとともに、避難所運営会議の打ち合わせを行いました。

私からは、子どもたちに向けて「登下校中や遊びや習い事などで出かけている時に地震が起きたら、**お**ちてくるもの、**ご**いてくるもの、**た**おれてくるものに気を付けて、まずは頭や内臓を守ること、大きなゆれが収まったら、まわりの大人と相談しながら安全なところを探して避難する」よう話しました。連休中、ご家庭でも子どもたちとお散歩しながら、「この場所に一人にいる時、地震が起きたらどこにどう避難するか」を考えたり、いざという時に避難する場所を決めたりするとよいと思います。

また、コロナウイルス感染症の収まりとともに、不審者の情報も増えてきました。警察や学校のメール配信のあるなしに関わらず、子どもたちをねらう不審者は常に存在しています。子どもたちがつらい思いをしないよう、学校では以下のように伝えています。

- 遊びに行くときは、だれとどこで遊ぶか、何時に帰るかを家の人に伝える。
- 1人で遊ばない。暗い夜道の一人歩きはさける。
- エレベーターに知らない人と二人きりで乗らないようにする。
- 家のカギを見えるところ(首など)にさげない。肩や背中に見えるような服装を避ける。外に1人いる時に、携帯電話等で話さない(家の中で電話する)。
- 公園のトイレなどは、友だちと一緒にいくようにする。
- 登下校だけでなく、遊びに行くときや習い事の行き帰りなども、防犯ベルを持ち歩く。
- 知らない人にはついていかない。手の届く範囲に入らない。知っている人でも、「家の人に聞いてから。」と話すようにする。
- 車に乗車している人から声をかけられても、不用意に近づかず、逃げられる距離を保つ。逃げる時は、車の進行方向と逆方向に逃げる。
- 心配な時は「子ども110番」の家や商店、人通りの多い道に逃げ、家に電話させてもらう。
- 身体をさわられそうになったり、連れて行かれそうになったりしたときには、大声で「たすけて!」「やめてください!」とまわりの大人に知らせるか、防犯ベルを鳴らす。
- 家の人と、どんな所が危険な場所かよく話し合い、そうしたところには行かないようにする。(誰でも入れるところであるが、入ってしまうとまわりからは見えにくい場所。例えば、公園の公衆トイレや自転車置き場、駐車場、非常階段や踊り場など)
- 不審者がいた場合は、学校でなく多摩警察署 TEL9 2 2 - 0 1 1 0 か、1 1 0 番に第一報の連絡をする。

防災教育は、一人にいる時にも自分の身を守れるようにすることが大切です。ご家庭での話し合いもよろしくお願ひいたします。

川崎市制100周年 豆ちしき①

令和6年7月1日に川崎市は市制100周年を迎えます。少しずつ川崎市のことを紹介していきます。多摩川から取水して稲田小の近くを流れる二ヶ領用水は、慶長16(1611)年に竣工した歴史ある農業用水です。江戸時代に稲毛領と川崎領の二つの領に開削されたのが名前の由来です。